

2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月14日

上場会社名 株式会社 ジェイ・イー・ティ 上場取引所 東
 コード番号 6228 URL <https://www.globaljet.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)房野 正幸
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)問田 宗寿 (TEL)0865(69)4080
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	11,724	19.3	1,039	19.9	944	26.7	646	31.8
2022年12月期第2四半期	9,826	0.2	866	△27.5	745	△33.6	490	△36.5

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 741百万円 (7.3%) 2022年12月期第2四半期 691百万円 (△20.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	171.57	—
2022年12月期第2四半期	130.18	—

(注) 当社は、2023年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	29,272	8,842	30.2
2022年12月期	28,290	8,340	29.5

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 8,842百万円 2022年12月期 8,340百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	127.00	127.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	76.00	76.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2023年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2022年12月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,536	14.8	2,759	32.8	2,581	36.1	1,747	45.9	463.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 - 社(社名) - 、除外 - 社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年12月期2Q	3,890,000株	2022年12月期	3,890,000株
2023年12月期2Q	120,000株	2022年12月期	120,000株
2023年12月期2Q	3,770,000株	2022年12月期2Q	3,770,000株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注)当社は、2023年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当期の経営成績

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧米の利上げやインフレは落ち着きつつあるものの継続しており、米中貿易摩擦は関係各国を巻き込みつつ新たな局面を迎え、ウクライナ紛争も長期化の様相を呈しており、依然先行きは不透明な状況が継続しております。

その中で、当社グループが属しております半導体業界におきましては、エレクトロニクス製品を含む世界的な消費減速の影響によりメモリー価格の下落が継続しており、ロジック半導体、イメージセンサーなどでも調整局面に入り厳しい状況にあります。また、中国を中心とした成熟世代半導体向けの設備投資は継続しておりますが、一部にて投資減速の傾向も見受けられます。

このような経営環境のなか、当社グループにおきましては、韓国メモリーメーカー向け装置の立上遅延により多少の影響がありましたが、中国ファウンドリ向け等の洗浄装置の販売は順調に推移しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高117億24百万円(前年同期比119.3%)、営業利益10億39百万円(前年同期比119.9%)、経常利益9億44百万円(前年同期比126.7%)、親会社株主に帰属する四半期純利益6億46百万円(前年同期比131.8%)となりました。

なお、当社グループにおける報告セグメントは、半導体事業のみであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は274億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億98百万円増加しました。これは主に「商品及び製品」、「仕掛品」及び「原材料及び貯蔵品」の増加によるものであります。

有形固定資産は10億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ89百万円減少しました。これは主に「機械及び装置」の減価償却が進んだことによるものであります。

無形固定資産は63百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円減少しました。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ9億81百万円増加し、292億72百万円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は152億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億3百万円増加しました。これは主に「前受金」の増加によるものであります。

固定負債は51億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億23百万円減少しました。これは主に「長期借入金」の減少によるものであります。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ4億79百万円増加し、204億29百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ5億1百万円増加し、88億42百万円となりました。これは主に「利益剰余金」の増加によるものであります。

キャッシュ・フローの分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ7億48百万円減少し、33億56百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は15億62百万円(前年同期は33億99百万円の使用)となりました。これは主に「棚卸資産」の増加額の減少による資金の増加、「前受金」の増加等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は1億15百万円(前年同期は85百万円の使用)となりました。これは主に「定期預

金」の純増減額等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は24億72百万円(前年同期は40億20百万円の獲得)となりました。これは主に「短期借入金」の返済、「長期借入金」の返済等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経済環境は、欧米の利上げやインフレは落ち着きつつあるものの継続しており、米中貿易摩擦は関係各国を巻き込みつつ新たな局面を迎え、ウクライナ紛争も長期化の様相を呈しており、依然先行きは不透明な状況が継続しております。

当社グループを取り巻く事業環境では、エレクトロニクス製品を含む世界的な消費減速の影響によりメモリー価格が下落したまま長期化しており、ロジック半導体、イメージセンサーなどでも調整局面に入り厳しい状況にあります。また、中国を中心とした成熟世代半導体向けの設備投資は継続しておりますが、一部にて投資減速の傾向も見受けられます。

このような経営環境のなか、当社グループにおきましては、価格の下落など厳しい市況にあるメモリー向けでは、メモリーの高容量化、DRAMでの規格の世代交代、NANDフラッシュでは3D構造の更なる高層化等に対応し、直近の市況に左右されず投資計画を実行する韓国メーカーに対し、米国等新たな地域、新たな分野を含め対応を強化してまいります。また、最先端だけでなく、車載向け及びパワー半導体等、既存の半導体でも需給がひっ迫しており、既存プロセスでの増産要求に対応し、中国の新たな半導体メーカーや、既存のファウンドリにて設備投資を継続するメーカーに対し、対応を強化してまいります。

このような事業環境を勘案し、連結業績予想につきましては、現時点では、ほぼ当初の計画通り推移しており、2023年2月10日に公表いたしました「2023年12月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)から変更しておりません。しかしながら、半導体メーカーの工場立上遅延等により装置の立上げに影響がでることも想定され、業績が変動する可能性もありますので、経営環境の動向を注視し、開示が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

なお、業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,812,788	3,938,586
受取手形、売掛金及び契約資産	1,660,904	929,726
商品及び製品	6,585,313	7,027,938
仕掛品	5,307,981	5,851,423
原材料及び貯蔵品	7,082,191	8,957,573
その他	990,318	733,011
流動資産合計	26,439,498	27,438,259
固定資産		
有形固定資産	1,137,226	1,047,910
無形固定資産	75,052	63,715
投資その他の資産	639,065	722,461
固定資産合計	1,851,343	1,834,086
資産合計	28,290,842	29,272,346
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,095,243	2,008,753
短期借入金	3,150,000	1,300,000
1年内返済予定の長期借入金	727,932	673,232
リース債務	3,429	4,392
未払法人税等	339,660	335,879
前受金	6,904,276	9,894,071
賞与引当金	30,783	137,228
製品保証引当金	449,611	459,009
その他	734,813	426,308
流動負債合計	14,435,750	15,238,875
固定負債		
長期借入金	5,438,882	5,111,866
リース債務	9,951	11,930
役員退職慰労引当金	60,957	62,504
資産除去債務	4,755	4,760
その他	43	12
固定負債合計	5,514,590	5,191,074
負債合計	19,950,340	20,429,950
純資産の部		
株主資本		
資本金	571,000	571,000
資本剰余金	558,538	558,538
利益剰余金	7,058,419	7,465,841
自己株式	△170,820	△170,820
株主資本合計	8,017,137	8,424,559
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	323,339	417,810
その他の包括利益累計額合計	323,339	417,810
非支配株主持分	25	25
純資産合計	8,340,502	8,842,396
負債純資産合計	28,290,842	29,272,346

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	9,826,529	11,724,580
売上原価	7,668,522	9,324,838
売上総利益	2,158,007	2,399,741
販売費及び一般管理費	1,291,210	1,360,712
営業利益	866,796	1,039,029
営業外収益		
受取利息	4,017	3,932
補助金収入	7,995	9,613
その他	2,958	1,139
営業外収益合計	14,971	14,685
営業外費用		
支払利息	27,343	32,405
為替差損	80,227	42,444
支払手数料	28,312	33,435
その他	338	1,193
営業外費用合計	136,221	109,480
経常利益	745,545	944,234
税金等調整前四半期純利益	745,545	944,234
法人税、住民税及び事業税	238,408	361,092
法人税等調整額	16,352	△63,675
法人税等合計	254,760	297,417
四半期純利益	490,785	646,817
親会社株主に帰属する四半期純利益	490,785	646,817

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	490,785	646,817
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	200,379	94,471
その他の包括利益合計	200,379	94,471
四半期包括利益	691,164	741,288
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	691,164	741,288
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	745,545	944,234
減価償却費	188,279	125,535
賞与引当金の増減額(△は減少)	82,278	106,006
製品保証引当金の増減額(△は減少)	7,726	9,398
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,162	1,547
受取利息及び受取配当金	△4,017	△3,932
支払利息	27,343	32,405
補助金収入	△7,995	△9,613
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△485,045	782,001
棚卸資産の増減額(△は増加)	△5,367,370	△2,848,634
仕入債務の増減額(△は減少)	169,133	△89,634
前受金の増減額(△は減少)	1,974,443	2,989,651
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△158,217	266,206
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△309,919	△327,309
その他	252,799	△39,243
小計	△2,880,852	1,938,619
利息及び配当金の受取額	4,017	3,932
利息の支払額	△25,509	△32,931
法人税等の支払額	△505,415	△356,788
補助金の受取額	7,995	9,613
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,399,764	1,562,444
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△48,800	134,425
有形固定資産の取得による支出	△15,019	△18,992
無形固定資産の取得による支出	△21,676	—
その他	136	136
投資活動によるキャッシュ・フロー	△85,360	115,569
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,500,000	△1,850,000
長期借入金の返済による支出	△244,392	△381,716
配当金の支払額	△233,740	△239,395
リース債務の返済による支出	△906	△1,437
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△25	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,020,936	△2,472,548
現金及び現金同等物に係る換算差額	105,154	45,539
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	640,966	△748,994
現金及び現金同等物の期首残高	4,131,377	4,105,557
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,772,343	3,356,562

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

1 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年3月30日 定時株主総会	普通株式	233	124	2021年12月31日	2022年3月31日	利益剰余金

(注) 当社は、2023年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、1株当たり配当額については、基準日が2021年12月31日であるため、株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年3月30日 定時株主総会	普通株式	239	127	2022年12月31日	2023年3月31日	利益剰余金

(注) 当社は、2023年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、1株当たり配当額については、基準日が2022年12月31日であるため、株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

当社グループにおける報告セグメントは、半導体事業のみであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

当社グループにおける報告セグメントは、半導体事業のみであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。